

第 33 回 日本赤十字社診療放射線技師会 近畿ブロック研修会報告

開催日 令和 8 年 2 月 28 日（土）～3 月 1 日（日）
担当施設 姫路赤十字病院
会場 姫路赤十字病院 大会議室、ホテルサンシャイン青山
参加者 12 施設 1 日目 73 名、2 日目 61 名

令和 8 年 2 月 28 日（土）～3 月 1 日（日）の 2 日間にわたり、第 33 回日本赤十字社診療放射線技師会近畿ブロック研修会が姫路赤十字病院主催により開催された。

本研修会のテーマは「連携と挑戦 ～日赤のスケールメリットを活かして in 姫路～」であり、数年ぶりとなる 2 日間開催となった。12 施設から参加があり、1 日目は 73 名、2 日目は 61 名の方々にご参加いただいた。

開会の挨拶は主催施設である岩見技師長が行い、続いて姫路赤十字病院 岡田裕之病院長よりご挨拶をいただいた。その後、日本赤十字社診療放射線技師会 荒井会長よりご挨拶と、日本赤十字社の動向および取り組みについてご講演いただいた。診療放射線技師も専門技術のみならず、病院経営への貢献が重要であることを改めて感じる内容であった。

ランチョンセミナーでは、シーメンスヘルスケア株式会社より MRI 装置「MAGNETOM Flow」と CT 装置「NAEOTOM Alpha」についての製品紹介が行われた。

特別講演 I では、グローリー株式会社 名倉三代代先生より「今日からできるリーダーシップの第一歩」というテーマでご講演いただいた。リーダーシップとは何かという基本的な点から、円滑に会議を進めるための工夫や社会人基礎力など、チームとして改善すべき点についてご教示いただいた。職場内ですぐに取り入れられる内容も多く、大変勉強になる講演であった。

その後、名倉先生の講演内容を踏まえたグループワーク・ディスカッションが行われた。参加者は 7 つのグループに分かれ、「STAT 画像報告 (XP・CT/MRI)」「タスクシフト・シェア」「技師教育」「医療安全」「災害医療」をテーマにディスカッションを行った。

グループワーク終了後、参加者は姫路赤十字病院放射線科の施設見学を行った。施設見学終了後、イブニングセミナーおよび 2 日目の会場であるホテルサンシャイン青山へ移動した。

イブニングセミナーでは、キャノンメディカルシステムズ株式会社より CT 装置「Aquilion Rise」についての紹介が行われた。

イブニングセミナー終了後、神戸赤十字病院 浅妻技師長の乾杯のご発声により情報交換会が盛大に開催され、1 日目の研修会は終了した。また、二次会にも多数の方にご参加いただいた。

2 日目は会員研究発表会が行われ、8 施設 9 演題の応募があり、2 つのセッションに分けて発表が行われた。活発な質疑応答が交わされ、有意義な研究発表会となった。

特別講演 II では、姫路赤十字病院 高原美貴 看護副部長より「世界の被災地の人々と共に～赤十字の国際救護活動を通じて～」をテーマにご講演いただいた。高原看護副部長は第 49 回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章されており、多くの国際活動に尽力されている。講演では世界の被災地の状況や赤十字の国際活動についてお話しいただき、大変貴重な経験を伺うことができた。

2日目のランチョンセミナーでは、研修会1日目に実施したグループワークについて、7つのグループの代表者より各テーマでディスカッションした内容の報告が行われた。

ランチョンセミナー終了後、次回開催施設である大阪赤十字病院 濱田泰成技師長よりご挨拶をいただき、最後に、今回の主催施設である姫路赤十字病院 松井寛副技師長より閉会の挨拶が行われ、本研修会は終了した。

研修会終了後、希望者を対象に兵庫県診療放射線技師会によるワクチン筋注行為講習会が行われた。

今回ご参加いただいた皆様、ならびに開催にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げ、研修会報告とする。